

(様式1)

令和3年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 014	提案機関名 県央家畜保健衛生所
要望問題名 センサーカメラを活用した野生いのしし対策の強化	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 平成30年9月以降、国内でCSFの発生が相次ぐ中、令和2年5月には県内で野生いのししのCSF感染が確認され、野生いのしし対策の重要性が更に増している。農場では防護柵を設置し、定期的な破損状況の確認や防護柵周囲の除草等、日々の管理に取り組んでいるが、侵入を許す危惧がある。 そこで、いのしし等野生鳥獣の分布が多い地域の農場において、センサーカメラを設置し、定点カメラで撮影した画像について、いのしし等野生鳥獣の出没把握、接近リスク、侵入箇所等を分析し、効果的な対策に活用するとともに、野生いのしし対策の更なる効率化と省力化を図るため、センサーカメラを活用した監視体制の確立に向けて、農業技術センター、畜産技術センター及び自然環境保全センターと連携し、検討をお願いしたい。	
解決希望年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画研究課
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	ご提案の内容については、本県では「かながわ鳥獣被害対策支援センター」を設置し、市町村や関係機関と連携して効果的な対策の提案、技術支援、効果検証などの支援を行っています。 「かながわ鳥獣被害対策支援センター」では、イノシシによる被害の発生している地域において、センサーカメラやドローンによるイノシシの出没状況を把握し、地域による電気柵の設置、わなの設置などの取り組みを支援しています。また、遠隔監視システムや通信機能付き自動撮影カメラなど、わなとICTを併用して、わなの運用の効率化、負担軽減に向けた実証実験にも取り組んでいますので、個別の対応については、「かながわ鳥獣被害対策支援センター」にご相談ください。 また、当所普及指導課では、イノシシに対する防護柵の設置効果について現地調査を計画しています。その中で得られた情報については、ご提供いたします。		
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			